



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月10日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 大
 コード番号 8041 URL <http://www.oug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正俊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	71,314	△4.2	△444	—	△389	—	△596	—
24年3月期第1四半期	74,448	△0.6	104	△24.0	242	△20.1	111	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △871百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △18百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△10.92	—
24年3月期第1四半期	2.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	77,222	14,640	19.0	267.87
24年3月期	70,340	15,840	22.5	289.79

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 14,637百万円 24年3月期 15,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	153,000	△0.1	300	△17.6	250	△51.9	100	△70.7	1.83
通期	321,000	0.1	1,200	17.9	1,000	△22.9	500	△63.1	9.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	55,622,921株	24年3月期	55,622,921株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	980,030株	24年3月期	977,820株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	54,643,453株	24年3月期1Q	54,653,391株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に景気は緩やかな回復基調にありましたが、欧州債務危機、海外経済の減速、円高などの影響により輸出や生産の動きは弱い状況にありました。また、雇用・所得環境は一部に改善の動きがみられたものの依然厳しく、個人消費は総じて低迷したまま推移いたしました。

水産物流通業界におきましては、先行き不安などによる消費者心理の冷え込みや生活防衛意識から購買意欲は低迷し、低価格志向が浸透したまま販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は713億14百万円（前年同期比95.8%）となりました。損益面では、売上総利益は49億46百万円（前年同期比91.4%）となり、営業損失4億44百万円（前年同期は営業利益1億4百万円）、経常損失3億89百万円（前年同期は経常利益2億42百万円）、四半期純損失5億96百万円（前年同期は四半期純利益1億11百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量の減少、販売単価の低下などにより売上高449億48百万円（前年同期比95.4%）、冷凍鮭鱒の市況下落などの影響による売上総利益率の低下及び貸倒引当金繰入額の増加によりセグメント損失2億17百万円（前年同期はセグメント利益1億36百万円）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、消費低迷などによる販売数量の減少により売上高262億31百万円（前年同期比95.7%）、エビ商材等の販売価格低迷による売上総利益率の低下によりセグメント損失1億77百万円（前年同期はセグメント損失1億16百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、全国的な養殖ブリの在池量増加に加え、競合する魚種（サーモン、カンパチなど）による市況の影響を受け、養殖ブリの販売価格低迷により売上高10億83百万円（前年同期比86.5%）、給餌効率の改善、間接経費全般の節減に努めましたがセグメント損失1億29百万円（前年同期はセグメント利益67百万円）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、平成23年9月より生産を開始した定塩鮭冷凍製品の販売が寄与し、また、前期末にて連結子会社を1社増加したことにより売上高10億45百万円（前年同期比132.3%）になりましたが、米などの原材料価格の高騰や販売価格低迷によりセグメント損失41百万円（前年同期はセグメント損失70百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、通過物量の減少などにより売上高5億10百万円（前年同期比97.7%）、セグメント損失19百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高10億44百万円（前年同期比105.7%）、セグメント利益7百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて68億81百万円増加し、772億22百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加78億74百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて80億82百万円増加し、625億82百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加23億84百万円、短期借入金の増加61億75百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて12億円減少し、146億40百万円（自己資本比率19.0%）となりました。主な要因は、四半期純損失の計上5億96百万円及び配当金の支払3億27百万円による利益剰余金の減少9億24百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億81百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,182	2,013
受取手形及び売掛金	29,055	28,478
商品及び製品	16,958	24,853
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	128	107
その他	1,326	1,578
貸倒引当金	△279	△337
流動資産合計	49,371	56,694
固定資産		
有形固定資産	12,112	12,013
無形固定資産	2,897	2,912
投資その他の資産		
投資有価証券	4,973	4,564
その他	2,831	3,001
貸倒引当金	△1,846	△1,964
投資その他の資産合計	5,958	5,601
固定資産合計	20,968	20,527
資産合計	70,340	77,222
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,152	22,537
短期借入金	15,795	21,970
1年内返済予定の長期借入金	1,291	1,224
未払法人税等	120	80
賞与引当金	705	365
その他	3,726	4,248
流動負債合計	41,791	50,426
固定負債		
長期借入金	6,768	6,492
退職給付引当金	2,450	2,479
役員退職慰労引当金	68	67
負ののれん	42	25
その他	3,377	3,090
固定負債合計	12,707	12,155
負債合計	54,499	62,582

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,153	6,153
利益剰余金	3,382	2,457
自己株式	△243	△243
株主資本合計	15,788	14,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	374	93
繰延ヘッジ損益	△3	4
土地再評価差額金	△324	△324
その他の包括利益累計額合計	46	△226
少数株主持分	5	2
純資産合計	15,840	14,640
負債純資産合計	70,340	77,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	74,448	71,314
売上原価	69,034	66,368
売上総利益	5,414	4,946
販売費及び一般管理費	5,309	5,391
営業利益又は営業損失(△)	104	△444
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	86	86
負ののれん償却額	91	16
その他	56	50
営業外収益合計	237	154
営業外費用		
支払利息	80	84
その他	18	14
営業外費用合計	99	99
経常利益又は経常損失(△)	242	△389
特別損失		
投資有価証券評価損	57	—
事務所移転費用	—	39
特別損失合計	57	39
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	184	△428
法人税、住民税及び事業税	47	69
法人税等調整額	24	100
法人税等合計	72	169
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	112	△598
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	111	△596

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	112	△598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136	△281
繰延ヘッジ損益	4	7
その他の包括利益合計	△131	△273
四半期包括利益	△18	△871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19	△870
少数株主に係る四半期包括利益	0	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	45,536	26,779	744	375	274	73,709	738	74,448	—	74,448
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,579	618	507	414	247	3,368	248	3,617	△3,617	—
計	47,116	27,397	1,251	790	522	77,077	987	78,065	△3,617	74,448
セグメント利益 又は損失 (△)	136	△116	67	△70	△23	△6	△2	△8	113	104

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額113百万円には、セグメント間取引消去284百万円、のれんの償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△166百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	43,468	25,679	716	392	264	70,521	793	71,314	—	71,314
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,479	551	367	653	246	3,297	251	3,548	△3,548	—
計	44,948	26,231	1,083	1,045	510	73,819	1,044	74,863	△3,548	71,314
セグメント利益 又は損失 (△)	△217	△177	△129	△41	△19	△584	7	△577	132	△444

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額132百万円には、セグメント間取引消去316百万円、のれんの償却額△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△180百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。